



18号の主な内容

企業訪問 株式会社仙台銘板 つくば営業所 …	2
障子、襖、網戸の張替え……………	3
女性会員の活躍……………	4
きり絵サークル……………	4
国立研究開発法人 森林総合研究所 ……	5
筑波山地域ジオパーク便り……………	6
おもちゃ病院……………	7
剪定・草刈班がゆく……………	8
付記……………	8

〈企業訪問〉

株式会社仙台銘板 つくば営業所 道路工事、建設現場で

人の安全を守ります

日ごろ、なにげなく通り過ぎているのではないのでしょうか。工事をしていく車道や歩道には段差があったり、穴が開いていたり、そんな危険がわかるように立て看板、安全標識、誘導灯、カラーコーン、バリケード、その他いろいろな保安用具が設置されています。建設現場も同様です。

このような用具を専門に取り扱っている会社が株式会社仙台銘板です。シ



マスコットキャラクターの「キティちゃん」の単管バリケード。可愛らしいですね。



カラーコーン、整然と積まれています。右側の黄色は単管バリケードに使うマスコットキャラクターのキリンガードでしょうか。



最近のソーラーパネルは高性能です。工事中であることを知らせる標識などに使用します。

ルバーの会員が就業の機会をいただいている。つくば営業所を訪ねました。取材では業務の南波留（なばる）さんに大変お世話になりました。お伺いしたのは春一番が吹きまくる日でした。所長をはじめ営業、営業事務、業務、そして作業員あわせて30名ほどが働いています。

商品種類はおおよそ1万点ですが、当営業所で扱うのはそのうち200〜300点で、ほとんどはレンタルされるそうです。主力は単管バリケードとカラーコーンです。

正門を入ると左側に事務所棟があり、駐車場が広がっています。正面は

荷物の積み下ろしなどを行う広い作業場になっています。右手にはレンタルされる数種類の保安用具が膨大にしかも整然と保管されています。工事現場は一般的には殺風景ですが、可愛らしいキャラクターを使うことによっていくらかやわらぎます。ご当地マスコットキャラクターとして茨城県には「ハッスル黄門」がありますが、他県でもご当地キャラクターを揃えています。その他、誰からも好かれるキティちゃん、サル、カエル、キリンガードなどの安全用具が使用されます。

事務所棟の向こう側では返却されたカラーコーンを高圧水で洗浄していま

〈案内〉

〒300-2655 つくば市島名 458-15

TEL 029-847-9200

FAX 029-847-9210

アクセス：

(自動車)

県道123号線

つくば秀英高校斜め向かい

松代から常総市方面へ約10分



お二人とも、フォークリフトの運転資格を持っています。
作業中のセンターの真鍋さん、磯部さんです。

した。ものすごい数です。また、レンタル用の単管バリケードをフォークリフトでトラックに積み込んでいました。この現場ではフォークリフトが大活躍です。

手狭になってきたこともありもっと広い場所に移転することになっており、つくばエクスプレス線のみどりの駅の近くだそうです。

今後もつくば市の道路、建設現場と人びとの安全をぜひ守り続けていただきたいと思っています。



障子の“張り替え”順番待ちです。
左の棧超しに襖紙のサンプル集が見えます。



手作りの竹べらでしっかりと密着させます。



チームワークが大事です。はみ出た紙を定規を当てながらカットしています。
山岡さん（左）、寺嶋さん（奥）、久保田さん（右）

〈障子、襖、網戸の張替え〉

丁寧綺麗に仕上げてくれると評判の豊里地区にあるシルバー今鹿島作業所を訪ねました。障子と網戸の張替えの依頼を受けていて、丁度作業をしているところでした。

障子の張替えはこれまでの紙をはがし、お湯をふくませたタオルで棧についでいる糊を手際よく綺麗にします。最後の工程で、はみ出た糊をタオルで綺麗に取り除くといったきめ細かい思いやりの作業をしていました。また、家庭では見られないバケツの水を温める電熱器を使用していました。作業は

丁寧で手際よく、しかも速いので写真を撮るのが一苦勞です。手作りの竹べらで「さつ」と張られた障子紙をひとつひとつと、ぴつたりと棧に張られます。このような道具は自分で工夫し作っているそうです。最後に霧吹きで裏面をひくと吹き、これで完成です。

繁忙期は、障子・襖はお盆・正月・法事の前ごろ、それと寒くなる前です。網戸は、4月から夏場にかけて忙しくなります。カバーする地域は、豊里、筑波、大穂、桜、谷田部の一部にまで及ぶかなり広い範囲でサービスを提供しています。南の地域は茎崎の作業チームが行っているそうです。

〈女性会員の活躍〉 給食セット（巾着）の贈呈

女性部会のメンバーが中心になり、女性会員の協力によって手作りの小物を製作しています。不要になった布切れ、着られなくなった浴衣等を再利用し、昨年「まつりつくば」シルバーのブースで好評だった布草履・バッグ・帽子・エプロン等の作品を作り販売しています。

もう一つテーマにしたのが、給食セット入れ（コップ・箸セット）です。小学校の新生に必要な給食セット入れの巾着袋です。半年前から制作にとりかかり、やっと出来上がりました。早速、大穂地区の小学校4校（大曾根・前野・吉沼・夢）に見本を持って訪問し、趣旨を伝えたところ、とても喜んでいただきました。2月22日に袋詰めして、届けることができました。校長先生から「シルバーさんがこんな事までして下さるのです



高野女性部会長から大穂地区小学校の校長先生に給食セットの巾着を贈呈しました。



次の制作に取り掛かっています。

か！』と喜びのコメントをいただきました。新生のお役に立てとても嬉しかったです。封筒を開けた瞬間、可愛らしい模様の給食セットを手には、学校に通う期待で胸一杯の子供達の顔が目に見えます。せせせと作った甲斐がありました。子供の元気な笑顔に接していると、とても元気を貰えます。手弁当で月2回（第2・第4水曜日、場所 谷田部老人福祉センター）集まり、楽しく手を動かしています。ボランティアと言っても色々あると思いますが、住み慣れたつくば市に少しでもお返し出来たらと思います。女性会員の皆様、ぜひ参加してみませんか？

きり絵サークル

会員 尾台昌治（谷田部地区）

これといった趣味もない身、市の広報できり絵の講習があるのを知り、時間つぶしに応募してから早や5年が経過した。

サークルのきり絵は平面きり絵で漆黒の和紙の上に原画を置き、鋭利なカッターナイフで原画の線や黒い部分を残し、白い部分を黒い和紙と一緒に切り取るもの。切り取り作業が終り、原画を取り除くと穴が開いた黒い和紙が残り、これを白い和紙の上に貼ると作品の仕上がりとなる。原画の線が細く、緻密なほど慎重さが求められる。

会員の作品を定期的に銀行など3ヶ所に展示し、カレンダーも作っている。悩みは会員の高齢化（70歳以上）と黒い和紙が高価なこと。作品を欲しい人がいても簡単に差し上げられないのが実情です。





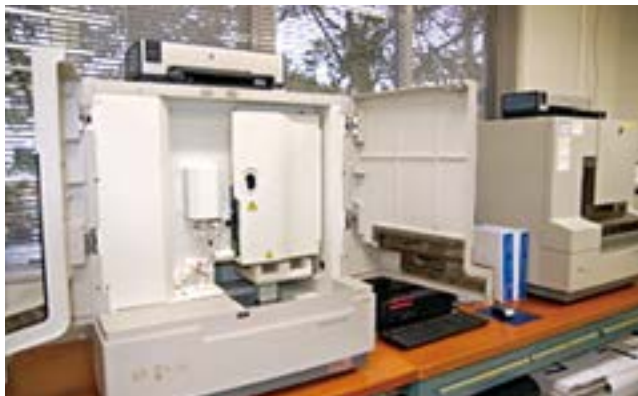
森林総合研究所の研究棟（右側に見えるのは研究本館です。生物多様性研究棟はこの写真では見えていません）



もりの展示ルーム



河原研究ディレクター。花粉症対策スギの研究成果が大いに期待されます。



生物多様性棟共同実験室で遺伝子解析に威力を発揮する精密機器。

〈森の守り人・森林総合研究所〉 花粉症対策に向け、 杉を作る、利用する！

森を育て次の世代につなげていくことが、日本の未来にとってたいへん重要であり、私たちをとりまく環境や生活に、密接な関わりがある森林のことや働きについて、少しでも知っておく必要があると思います。二月下旬、森林の研究所を訪問する機会を得たので、その結果を二部に分けてご紹介します。

第一部。つくば市内には、森林の総合的研究に携わる、国内で唯一の国立

研究機関〈国立研究開発法人 森林総合研究所〉があり、かつては林業試験所の名称でよく知られたところでした。名前の通り、鬱蒼たる樹木群に囲まれた広大な敷地の中にあります。この役割は多岐にわたり、(一) 森林を守り育てる技術の開発、(二) 国産材の安定供給に必要な林業システムの研究、(三) 研究成果を林業資源に活用する技術の開発（例えばCLT〈建築用直交集成板〉）、(四) 森林生物がもつ多様な機能の解明と応用・優良な林木品種の開発と育種技術の強化など(例：遺伝子技術・キノコ菌)。ここでの研究が、国レベルの政策や助言に反映さ

れる役割を果たしているのです。全国に存在する支所や整備局、育種場を統括するのもこの研究所です。一般向け普及のために、ここでは四月の科学技術週間(一日間)と夏休み期間中に、(もりの展示ルーム)や(樹木園(一部))を公開しているそうです。(もりの展示ルーム)では、研究成果の一部が公開されていますが、虫好きの子供たちが大喜びしそうな昆虫の標本が展示されています。

第二部。二月初、NHKラジオに、スギ花粉のことで本所の研究ディレクター河原孝行氏(生物機能担当)が出演されたのを、たまたま記者がその放

〈ご案内〉

住所：〒305-8687 茨城県つくば市松の里 1

TEL：029-829-8372

URL: <http://www.ffpri.affrc.go.jp>

送を聞いたのが、訪問のきっかけです。今回光栄にもそのご本人にお話をさせていただきました。遺伝子の応用技術が担当で、スギやヒノキなどの花粉研究もテーマの一部だとか。先生の持論では、日本の木材市場では、いまは国産三十%、輸入七十%だが、将来は半々にもっていけるように、国産材の需要を高める必要があるとのこと。いまや国民病とも言える花粉症について、戦



今や花粉が飛び頃の雄花を多数つけたスギ。右は河原研究ディレクター。

後荒れ果てた国土に、需要が多く成長の早いスギなどの植林を進めた結果、スギが壮齢期を迎えて繁殖活動が活発になり、花粉が飛び、花粉症患者が増えてしまいました。花粉対策の一つに、花粉を少ししかださないスギの品種を選んで、それを広めることがいま進んでいるそうです。ただサイクルの長いことが林業の悩みで、花粉の少ないスギかどうか確かめるだけでもまず五年は必要です。また、花粉を出している今のスギを伐って利用していくことも大切ですが、利用拡大に向けて木質バイオマスを工業原料として利用する技術や、CLT（直交集成材）で中高層の建築物を作る技術の開発も、研究所では行っているそうです。

まとめとして、森林とは、木がもつ多くの機能性を活かして、土砂崩れを防ぐ環境の維持に役立てて、人々の衣食住に不可欠な存在であると力説されたのが、印象的でした。

最後に実験室と園内を見学させていただきました。園内には花粉症の方が尻込みするような多くのスギが植えられています。無数の雄花からいまでも花粉が飛び出しそうな盛んな状況でした。

〈筑波山地域ジオパーク便り〉 筑波山の梅林ミニジオツアー

今年二月～三月の「筑波山梅まつり」に合わせて、推進協議会により企画された「筑波山梅林ミニジオツアー」第一目の様子を紹介しましょう。二月二十六日、ポカポカ陽気の山麓に、一般市民のみなさんが集合。ベテランのボランティアによるガイドと、筑波大 学地学専攻の学生たちのサポートもあり、梅林内を散策しながらの観察です。約千本ある梅の木は、白梅が八割、紅梅が二割、りよくがく梅が三本とのことです。筑波山に梅の木が植栽された背景や、梅林に点在する多数の奇岩が山の生い立ちの歴史を物語るなど、楽しく充実した一日でした。



筑波山地域ジオパーク推進協議会
☎ 029-883-1111
サポーターズクラブ
<http://www.tsukuba-geopark.jp/>



お母さんとお子さんが修理の依頼に来ました。



内野さんとボランティアの学生さんが真剣な表情で修理していました。



鳴らなくなったハローキティカラオケを修理しています。

おもちゃが生きかえる！ おもちゃ病院

皆様は壊れて遊べなくなってしまうおもちゃを修理してもらえる「おもちゃ病院」が開催されているのをご存知ですか？

おもちゃについての知識が豊富で修理の技術をお持ちの「おもちゃドクター」の方々が、壊れてしまったおもちゃを修理してくださいます。

場所は、「老人福祉センターとよさと」「ララガーデンつくば」「イーアスつくば」で開催しています。

当日は責任者の内野さんからお話を伺うことができました。また、シルバール材センター会員の板橋さんと飯村さんが参加されていて、「名ドクター」ぶりを発揮されていました。

修理できるおもちゃは、幼児、児童が使うおもちゃ全般で、走らなくなった電車や車、音の出なくなったおも

ちゃのピアノ、動かなくなったクマさん、ワンちゃん、ネコちゃん等々です。修理できないおもちゃもありますので連絡先までお問い合わせください。

賛同してくださる「おもちゃドクター」を募集しています。おもちゃに興味があり、腕にチョッピリ自信のある方、挑戦してはみてはいかがでしょう？

開催日程

毎月第1月曜日(10:00～15:30): ララガーデンつくば
 毎月第2金曜日(10:00～15:00): 老人福祉センターとよさと
 毎月第4土曜日(10:00～12:00): 老人福祉センターとよさと
 隔月の最終水曜日(10:00～15:00): イーアスつくば
 連絡先 080-3093-5569 内野

〈剪定・草刈班がゆく〉 〜実り多き剪定講習会

年に二回（春と冬）の剪定講習会のうち、今年一月下旬に、シルバーの〈平成二十八年度冬期剪定講習会〉が行なわれました。初日は剪定の技術についての科目講習でしたが、のこり三日間は、市内の民家のご好意により、同家の大庭園を借りての実技講習です。作業上の安全に関する指示に、とくに重点がおられました。丁寧・安全・技術、これらがしっかりと組み合わされれば、シルバーの人たちが活躍する場は、まだまだ続くことでしょう。



剪定作業が終わった庭園の一部



実技三日目（1月26日）指導員と受講者全員。背景の庭木は、今回剪定講習会が実施されたところです

〈ご案内〉

平成二十九年
度入会説明会は
次の通りで行い
ます。入会をご
希望の方は、直
接説明会会場に
お越しください
い。お問い合わせ
せは、電話で受
け付けておりま
す。ホームページ
にも掲載して
おります。

〈付記〉

表紙の写真は、筑波山梅林ミ
ニジオツアーで見かけた、筑波
山生成に起因する約七千五百万
年前の斑れい岩と、梅林で咲い
ていた梅の花です。

◆きずな原稿募集

「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしております。投稿いただきました原稿を掲載した場合、些少ではありますが掲載謝礼をご用意いたします。

開催月日	時間	会場
4月13日(木)/5月11日(木)	午後1時30分	シルバー人材センター会議室 (大穂庁舎3階 会議室)
6月8日(木)/7月13日(木)		
8月10日(木)/9月14日(木)		